

第5回 放射線治療あすなろ会 総合学術セミナー (実施報告書)

2021.9.27 記載 新潟県立中央病院 大坂暁胤

【開催日時】 令和3年9月25日(土) 12時(開会) ~ 18時30分(閉会)

【会場】 Web開催 (Zoom) 【申込者数】 318名 【参加者数】 287名

【取得単位等】 日本放射線治療専門放射線技師認定機構 1単位

放射線治療品質管理機構 0.5単位

【実施報告】

・令和2年度の宮城開催中止を得て、今年度 Web 開催を実施した。直前まで会場型を模索していたが、感染状況が改善しないことから Web 開催となった。今までの放射線治療あすなろ会は若手からベテランまでの参加者が活発な質疑を行い参加者が盛り上げる会であったが、今回の Web 開催でもその気質は受け継がれ、多くの質疑とともに時間も大幅に延長となる状況であった。

今回は、会員報告として、放射線治療あすなろ会の専門部会である特殊放射線治療部会から Tomotherapy に関する演題、そして、山形大学の重粒子センター稼働後の報告があった。教育講演では、肺がんをテーマに弘前大学の青木教授から SBRT、福島医大保健科学部の佐藤准教授から免疫放射線療法、本会世話人の福島医大、岡氏より肺がんの治療計画の講演があり、最近のトピックを含む大変有意義なものであった。最後に、本会協賛メーカーから5社が報告を行った。内容としては、ファーマクラスのチェンバーの評価や患者 QA ツール及び、リニアックメーカーからは肺がんに関する放射線治療のトピックを紹介いただいた。最終申込318名と多くの申込みをいただき、質疑も途絶えることなく盛会裏に終了となった。

【スケジュール】

- 会員報告 -

1. 12:05~13:05 特殊放射線治療部会

①「Tomotherapy の出力評価 (第三者評価に向けて)」 十和田市立中央病院 小川佐智男 氏

②「Tomotherapy による乳房照射」 北福島医療センター 星野 勝 氏

2. 13:05~13:35 重粒子線治療

③「山形大学医学部東日本重粒子センター (EJHIC) の現状」

山形大学医学部附属病院 鈴木幸司 氏

- 講演 - 「テーマ 肺がん」

3. 13:40~14:40 「肺癌に対する体幹部定位放射線治療の現状と将来展望」

弘前大学大学院医学研究科 放射線腫瘍学講座 教授 青木昌彦 先生

4. 14:45~15:35 「肺癌における治療計画 ~線量分割・線量処方の視点から~」

福島県立医科大学 医学物理士 岡 善隆 先生

5. 15:35~16:15 「肺癌に対する免疫放射線治療」

公立大学法人 福島県立医科大学 保健科学部 診療放射線学科 准教授 佐藤久志 先生

- 協賛メーカー報告 -

6. 16:20~18:00

・「測定機器 QA・患者 QA」

①「Jaffe-Plot について IBA 社 ファーマー形電離箱の多施設測定の結果より」

東洋メディック(株) RT 技術部 荒木教行 氏

②「患者 QA から発見されたエラー事例紹介-いつ、どこで、どのエラーに着目しますか?」

サンニュークリアコーポレーション インターナショナルセールス 古谷智久 氏

・「肺がんの放射線治療」

③ アキュレイ『Radixact Synchrony - 初期経験を通して見えた 動体追尾の実力と期待 -』

アキュレイ株式会社 フィジックス&クリニカルサポート 小林冬水 氏

④ ELEKTA『肺がんの放射線治療をリードするエレクトリニアックの紹介』

エレクタ株式会社リサーチフィジックス 岩井良夫 氏

⑤ VARIAN『Varian が提供する肺がん治療システム』

株式会社バリアンメディカルシステムズ プロダクトマーケティング 小林 真 氏